

中川 千恵子氏が勇退、伊藤恵子氏が新会長に！

レディース中央会は、6月10日（木）津市において第9回通常総会を開催しました。

来賓の佐久間三重県中小企業団体中央会会長が「女性持ち前の協調性・包容力・発想力・直感力に磨きをかけていただき、今後ますますのレディース中央会の活躍を期待します。」



中川 千恵子氏

と挨拶を述べたあと、設立以来8年間率いてきた中川前会長より、伊藤新会長（伊藤印刷株式会社 専務取締役）に、「レディース中央会の存在意義を確立し、人を磨く場、人と手をつなぐ場として、また、親会とのパイプもより太くして活動してもらいたい。」とエールを送ると、伊藤新会長は、「このような時代において、主婦である私たちは、主婦力も活かしながら、存在価値をより高めて活動していきたい。」と就任の意気込みを語りました。なお、副会長には、鈴木愛子氏（株

式会社一エ商店 取締役経理部長）、前田朝子氏（三重中央木材加工協同組合 理事）、松岡美江子氏（マツオカ建機株式会社 代表取締役）が選任されました。

総会終了後には、ベルリンの壁の修復に招待された唯一の日本人画家である四日市市在住の宮武貴久恵さんから「ひかりを抱く花のように ～ベルリンの壁にかける思い～」というテーマでゲストスピーチがありました。

ドイツのベルリンの壁は、自由になったことを記念して1989年に壊されましたが、それまで28年もの長い間、東西行き来することを許されませんでした。今後、このようなことがないよう、その思いを忘れない



伊藤恵子新会長

ようにと1990年、残っていた一部の壁に絵を描きました。そして、昨年、20年ぶりに修復のための声がかかりました。宮武さんは、「当たり前だと思っている自由の大切さをしみじみ感じた。

今回の修復では、“ジャパン”の文字を入れ、この平和がいつまでも続くようにという思いで描いた。」と話されました。



宮武講師と